



看護部通信



2023年11月

朝晩の気温が下がり紅葉は進んでいますが、例年に比べると暖かいですね。

栗・ぶどう・柿・りんご・サツマイモ・きのこなど秋の味覚があふれ、おでかけにも良い季節となりました。連日の「クマ」、被害のニュースで、栗拾いもキノコ狩りも散歩すらも、ゆっくり楽しむことができない状況となっていますが、『いつでも・どこでも・誰でも』クマに遭う可能性があることを忘れずに、クマ対策をしっかりとして、スポーツの秋・読書の秋・食欲の秋など楽しみたいですね。
(看護師長会)

『スポーツの秋』

2病棟 Y

猛暑の夏が終わり、あっという間に肌寒い秋になりましたね。

秋といえば・・・スポーツですね！私は数年前から健康増進のためにジョギングを始めました。最初の頃はすぐにバテてしまい短い距離しか走れませんでした。徐々に走れる距離も長くなり楽しみも増してきました。

そして、最近の楽しみは自分の子供たちと一緒に走ることです。先日、6歳の次男とマラソン大会に出場しました。距離は1キロと短いですが6歳の体には結構辛かったようで、後半は息を切らしバテバテでしたが、しっかり完走し無事にゴールすることが出来ました。完走したことで自信がついたのか、来年は2キロにチャレンジすると意気込んでいました。子供の成長は早く、走れる距離もどんどん伸びてくることですが、自分も負けないように日々、精進していきたいと思いました。

一緒にマラソン大会☆息子さんにとっても、Yさんにとっても、思い出に残る良い体験でした。



『介護福祉士・看護師の協力がもたらすもの』

2病棟・H

6月から2病棟に4名の介護福祉士の方が来てくださいました。介護の専門家である介護福祉士の方の視点は常に患者さんに寄り添っていることを、その言動や行動から実感させられています。技術面も含め学ぶことが多く、協同することで患者さんに還元できるケアの質の向上によりつながるのではないかと思います。ただ一方で、脅威を感じてしまいます。この「診療の補助」に重きを置かざるを得ない現状では、看護師のもうひとつの役割である「療養上の世話」を介護福祉士の方達に奪われてしまうのではないかと危機感です。協同により「看護とは」「看護師とは」について、また改めて思索することになりました。ということで、読書の秋（もう冬？）ですね。たまりにたまった本を読みまくりたいと思います。

「協同」と「協働」意味を調べてみて、なるほど！と納得☆目指しているのは「協働」ですね。

